

大野木町

七尾駅から小型バスに揺られること約20分、目の前に富山湾が広がる。さらに海岸沿いの狭い道を北上すること約10分、七尾バス百海線の終点大野木停留所に着く。

北大呑地区の北端、大野木町は、富山湾と田にはさまれるように細長く住居が並んでいる。県道庵・鶴浦・大田新線からは、家並みが海と田の間に真直ぐ並んでいるように見える。



八幡神社

この道路の下、農地に囲まれるように八幡神社がある。この神社は昔、大野木の北方海岸、犬岩の地に建てていた。しかし、天正5年（1577年）9月上杉謙信の七尾城攻略の際に焼失。その後、千蛇越の山頂に再建されたが、再建された地は参拝

に困難な場所であった。そのためか「吾淋しき故麓に下せ」との神託があり、さらに、側を通る人馬や、沖を通ろうとしていた船が止められた。このことにより今の地に移されたという。



八幡神社

立山連峰とアイの風

バス停から少し歩くと海岸へ降りることができる。

海岸へ降り立つと、目の前には青い空と青い海が広がる。背後からの優しい風を受けながら、遠くを見わたすと、この日は運良く立山連峰までも眺めることができた。明日は雨であろうか？この辺りでは陸側から風が吹き、立山連峰がはっきり見えると雨が近いとされている。逆にアイの風が吹いている間は雨が降らないとされる。

「犬岩の崖」

護岸工事により階段状になっ

昭和25年頃の犬岩の崖

写真提供：聖徳寺



るコンクリートに腰をおろし、しばらく景色を眺めていた。岸近くの海底は砂地になっており、北側は砂浜になっている。砂浜の北端には切り立った崖があり、氷見から続く海岸沿いの道路をさえぎっている。

この崖は「犬岩の崖」と呼ばれている。崖の先端部分は分かれて、小島のように見える。この小島には小さな穴があいており、岩の奥をのぞく小窓のようになっている。また、岩肌には木々が繁り、すばらしい景観を形づくっている。小島の先には、